

(19)日本国特許庁（J P）

(12) 公 開 特 許 公 報（A）

(11)特許出願公開番号

特開平11－18745

(43)公開日 平成11年(1999) 1 月26日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 2 4 F 13/24

A 2 4 F 13/24

審査請求 未請求 請求項の数1 F D （全 3 頁）

(21)出願番号 特願平9－191818

(22)出願日 平成9年(1997) 7 月 2 日

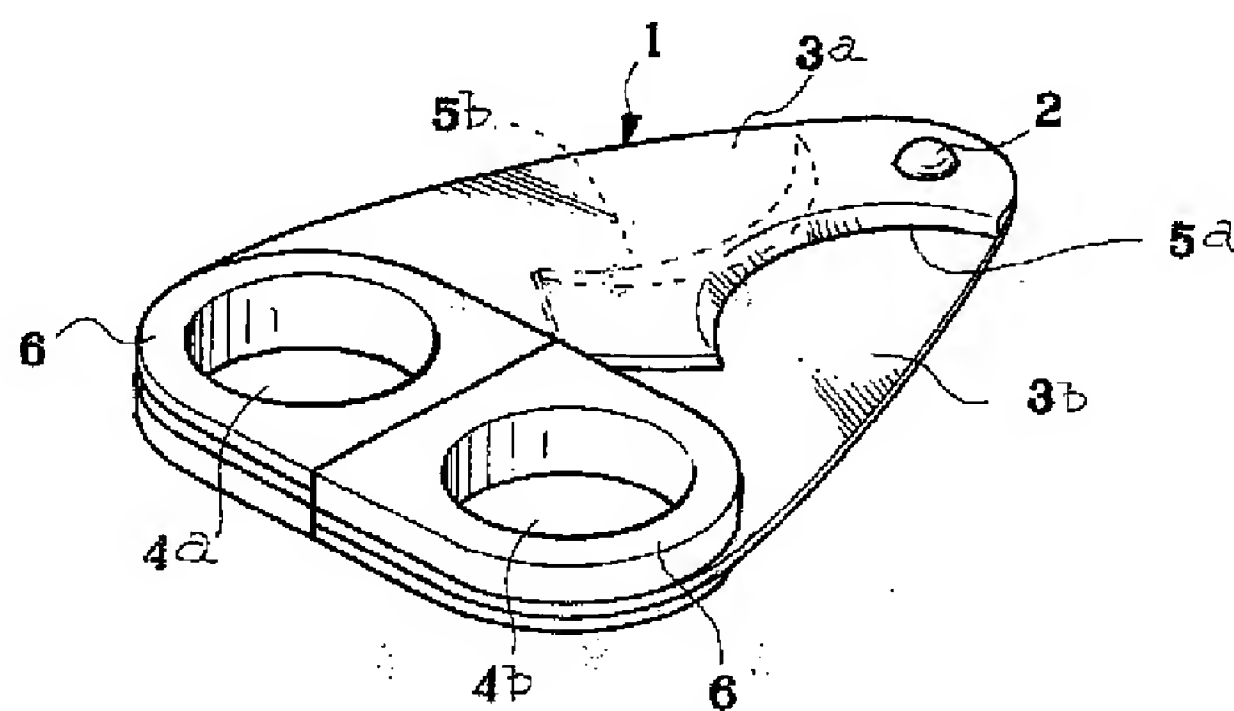
(71)出願人 391014516
坪田パール株式会社
東京都台東区寿3丁目21番12号
(71)出願人 597102185
株式会社 春山商事
東京都台東区台東4丁目13番21号
(72)発明者 坪田 栄一
東京都台東区寿3丁目21番12号 坪田パール株式会社内
(72)発明者 春山 徹郎
東京都台東区台東4丁目13番21号 株式会社春山商事内
(74)代理人 弁理士 竹内 裕

(54)【発明の名称】 葉巻カッター

(57)【要約】

【課題】 葉巻の切断刃を大きなサイズの葉巻も切断可能な大きな寸法に形成しつつ、全体の形状、寸法をコンパクトにし得るようにした葉巻カッターを提供せんとするものである。

【解決手段】 一端で軸ピンにより回転自在に軸支した鋏部片の他端に指掛け部を形成し、軸ピンと指掛け部との間に半円弧状の葉巻切断刃を形成したことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】一端で軸ピンにより回転自在に軸支した鉄部片の他端に指掛け部を形成し、軸ピンと指掛け部との間に半円弧状の葉巻切断刃を形成したことを特徴とする葉巻カッター。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】この発明は、葉巻の先端を切断して吸口部を作出するための葉巻カッターに関する。

【0002】

【従来の技術】従来公知の葉巻カッターは、半円形の切断刃を交差させる鉄タイプのもの、円形の穴を横断する切断刃を備えた押切タイプのもの等が知られている。押切タイプの葉巻カッターは、葉巻を挿入する穴を葉巻の外径に応じたものとしなければならないため、複数の葉巻カッターを用意しなければならない不便さがある。この発明は、鉄タイプの葉巻カッターに関し、特に全体の寸法や形状を小型に形成可能としたものである。従来の鉄タイプの葉巻カッターは、支点を中心に一端に切断刃を形成し、他端に指掛け部を形成した二本の鉄部片を支点で軸支した構造が一般的である。しかしながら、かかる構造の鉄タイプでは、全体の寸法が長くなり、小型化が困難である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、葉巻の切断刃を大きなサイズの葉巻も切断可能な大きな寸法に形成しつつ、全体の形状、寸法をコンパクトにし得るようにした葉巻カッターを提供せんとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するためにこの発明が採った手段は、一端で軸ピンにより回転自在に軸支した鉄部片の他端に指掛け部を形成し、軸ピンと指掛け部との間に半円弧状の葉巻切断刃を形成したことを特徴とする。

【0005】

【発明の実施の形態】この発明の好ましい実施の形態を、以下に詳細に説明する。図面を参照して、(1)はこの発明にかかる葉巻カッターを示し、一端で軸ピン(2)により回転自在に軸支された二つの鉄部片(3a)(3b)からなる。該鉄部片(3a)(3b)は、軸支部と反対側の他端に指掛け部(4a)(4b)を備え、軸ピン(2)と指掛け部

(4a)(4b)との間に切断刃(5a)(5b)が形成される。切断刃(5a)(5b)は、円柱状の葉巻を切断するに適した半円弧状の刃形状に形成されている。指掛け部(4a)(4b)は、鉄部片(3a)(3b)の他端に形成された指挿入孔からなり、該指挿入孔の周囲にはゴム製の緩衝材(6)が定着されている。該緩衝材(6)は、図4に示すように重ねて軸支された鉄部片(3a)(3b)のズレに対応して厚みを表裏で異ならせて、高さが一致するようにしてある。

【0006】図示に実施態様において、鉄部片(3a)(3b)は約75ミリの長さを有しており、従来の鉄タイプの葉巻カッターに比して約半分程度の長さのコンパクトな寸法、形状に形成されている。鉄部片がかかる短い長さであるに係わらず、切断刃(5a)(5b)は軸ピン(2)から指掛け部(4a)(4b)までの間の長さに形成することが出来るため、長い切断刃とすることが出来、太い葉巻を切断するに十分な長さの切断刃を有する葉巻カッターを得ることが可能となる。

【0007】図示の実施形態において、葉巻カッターは、全体としておむすび形に形成されているが、形状はこれに限定されるものではない。又、指掛け部の形状も穴形状である必要はない。指をかけて葉巻カッターを操作することが出来る構造であれば如何なる形状、構造であっても良い。

【0008】

【発明の効果】この発明によれば、全体の形状、寸法をコンパクトにしつつ葉巻を切断するための切断刃を十分に長いものとすることが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明にかかる葉巻カッターの斜視図

【図2】同平面図

【図3】図2 A-A' 線に沿った断面図

【図4】図2 B-B' 線に沿った断面図

【図5】使用状態を示す斜視図

【符号の説明】

(1)葉巻カッター

(2)軸ピン

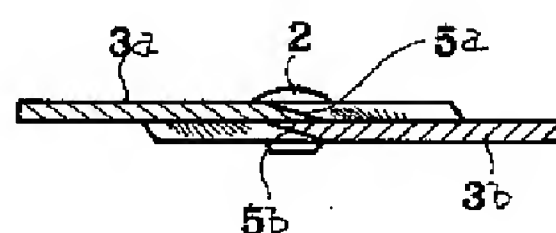
(3a)(3b)鉄部片

(4a)(4b)指掛け部

(5a)(5b)切断刃

(6)緩衝材

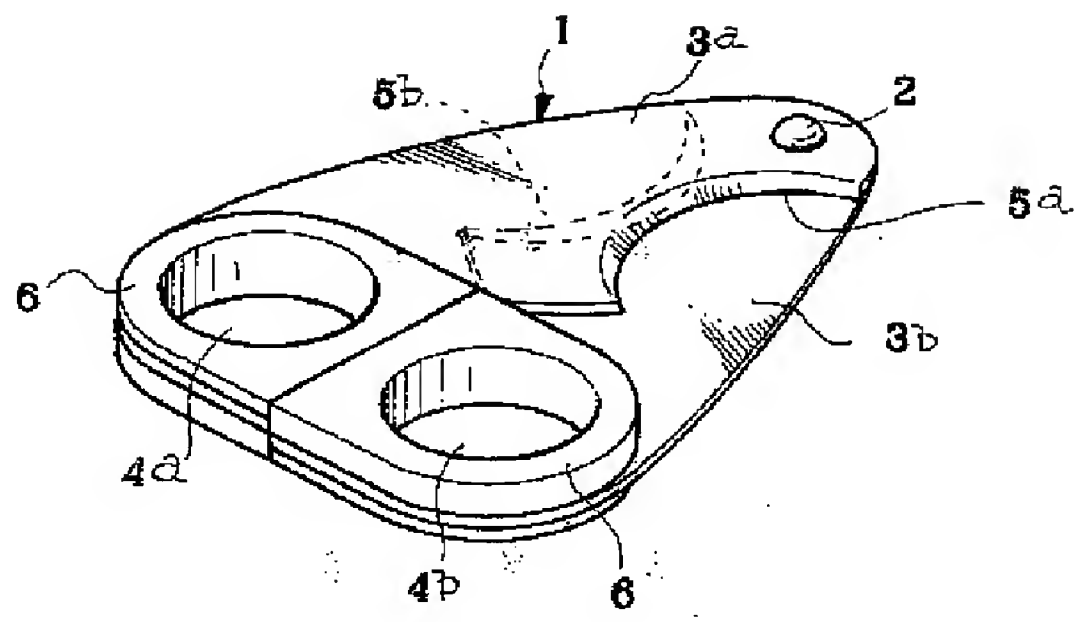
【図3】



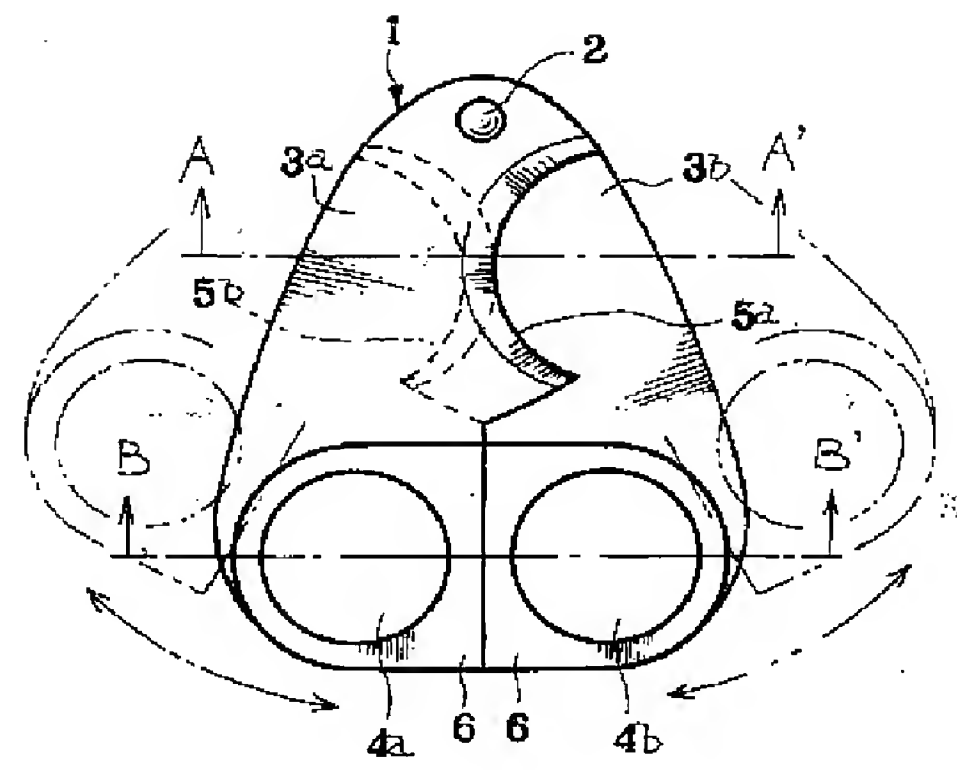
【図4】



【図1】



【図2】



【図5】

